



上田市立東小学校
学校だより

望と勇

令和6年9月25日

No. 13

《東小学校ホームページ》 www.school.umic.jp/higashi/ もご覧ください。(最新情報ほぼ毎日更新中)

R6年度 HP 更新回数 4月～7月毎月100回超 市内小中学校別最多更新 HP アクセス回数最多更新中 ぜひご覧ください!

「学校へ行こう日」での参観ありがとうございました!

9月3日(火)・5日(木)・6日(金)の3日間、「学校へ行こう日」を開催。保護者の方だけでなく、地域の皆さんにも、参観していただき、ありがとうございました。多くの学年学級で、専科教員による授業、学年内教科担任による授業、担任交換授業、合同授業等、学級担任による授業以外も参観していただくことができました。子どもたちは、多様なかわりを楽しみながら、張り切って授業に取り組む姿が見られました。また、力作ぞろいの夏休みの作品を皆様にご覧になっていただくことができ、子どもたちも喜んでおりました。



「自分の命は自分で守る」地震を想定した避難訓練を実施

「いつも災害が起こった時にどう行動すればよいか考えておかなければいけない」ということで、9月2日に地震を想定した避難訓練を行いました。いつ、どこで起こるか分からない、予想することができないのがこの自然災害。「もしも」の時に自分の命を守るために、落ち着いて考え、行動する心構えを身につけることが今回の訓練の意味です。そのことを踏まえると、どの学年の児童も、とても落ち着いて整然と避難及び話を聴くことができました。登下校時や家に居た時にも、この学びが応用できるようにしていきましょう。



6年生首都東京への修学旅行 行ってきました!

9月11日(水)～12日(木)の2日間、6年生は首都東京への修学旅行に行ってきました。1日目は、自分で選択したコース別体験学習【①浅草体験コース:「箱長」で桐木目込みづくり】【②スポーツ体験コース:「味の素ナショナルトレーニングセンター」でスポーツ体験】【③「日本銀行」見学コース】【④「JICA」コース】で学んだ後、上野の国立科学博物館(班別行動)で合流し、舞浜の東京ディズニーランド(班別行動)へ。2日目は、JFEスチール東日本製鉄所で工場見学した後、月島もんじゃストリートでもんじゃ焼きを体験し、国会議事堂参議院を見学し、東京タワーで展望台見学と買い物をしました。グループ行動が圧倒的に多かった2日間でしたが、時間に遅れることなく主体的に行動することができ、一人一人が相手を気遣うことができた素晴らしい修学旅行となりました。



E～ね！東小 今日も笑顔でさわやかな朝を迎えました！

事務室の先生から、「今朝も嬉しい電話がありました！」とにこやかな表情で報告を受けました。最近このような地域の方からのお電話が増えました。紹介します。

「いつもお伝えしようと思っていました。東小学校の子どもたち、登下校時のマナーがとてもいいです。横断歩道で一時停止した車の運転手にしっかりと挨拶をしてくれる。止まってあげると、小走りに渡ってくれる。止まってよかったなと思える。嬉しい気持ちになる。私はたまたま染屋あたりを通過しているが、東小学校全体でマナーがとてもよいと感じています。」



えしゃくするのをくせにする・しゅうかんにする
たちどまってれいをするのをルーティーンにする

本校の子どもたちは、「信号機のある横断歩道」「手押し式の信号機のある横断歩道」を渡ってくるケースが多いわけですが、今回のように「信号機のない横断歩道」を渡っているほとんどの友だちが、手をしっかりとあげ、車が一時停止したことを確認後、左右を確認して、渡り切ったところで、止まってくれた運転手さんに「ぺこり」と、または「深々」と会釈・礼をしていました。車の運転手さんは、窓を閉めている方が多いので、「ありがとうございました」という声よりも、「会釈をする」「礼をする」という姿・行為の方が相手に感謝の気持ちが伝わります。東小学校のお友だちの素敵な姿をもっともっと広げていきたいと思いました。

「行為の意味」について考える ～思いや心を伝えるには…～

9月18日に2学期最初の「校長の大きなつぶやき対話集会」（校長講話）がありました。今回は2学期始業式での『努力・挑戦を続けていこう』のめあてに寄せて、『行為の意味』について考え合いました。



「**こころ**」はだれにも見えないけれど「**こころづかい**」は見える

「**思い**」は見えないけれど「**思いやり**」はだれにでも見える

『「心」は誰にも見えないけれど、『こころづかい』は見える。『思い』は見えないけれど、『思いやり』は誰にでも見える。その気持ちをカタチに。』東日本大震災以降、ほとんど毎日、テレビでACジャパンのCMで流れているもので、詩人で作詞家の宮澤章二さんが作った「行為の意味」という詩を紹介しました。この言葉はとても重みのあるすばらしい言葉ですね。被害に遭われ、大変な悲しみを抱え、厳しい避難所生活を強いられている多くの皆さんへの「思い」を、私たち一人ひとりがしっかりと胸に刻むとともに、その「思い」をしっかりと形（行動）に表していくことが大切なのだと教えてくれています。

<p>「思い・こころ」 朝だれも「おはよう」を言わずに登校したらどうなるだろう くら～い学校なんてヤダ！ 友だちに会えないのもヤダ！</p>	<p>「思い・こころ」 一人で考えてもわからないだれか教えてくれないかな こまっちゃった！ だれかたすけて！</p>	<p>「思い・こころ」 おもたにもつをもってヨロヨロしている人がいます たいへんそうだな！ おもそうだな！</p>	<p>「思い・こころ」 ろうかにバケツの水がこぼれたままになっています はやくふかなきゃ！ すべてころんだらあぶないな！</p>
<p>「思いやり・こころづかい」 わくわくする東小・フンチーム東小 わらわいあえる東小にしよう！ あいさつビンゴをやろう なおよタイムでみんなを遊ぼう</p>	<p>「思いやり・こころづかい」 どこでこまっているの！ こうすれまいんだよ！ おしえてもらったら よかったです！ ありがとう！</p>	<p>「思いやり・こころづかい」 「いっしょにてつぼうよ！」 どいていっしょに もってあげる</p>	<p>「思いやり・こころづかい」 ぞうきんをもってきて 水をすいどる 「いっしょにてつぼうね」 とこぼれた水をふきどる</p>

私たちになにができるのでしょうか。何をすべきなのでしょう。できることがあれば、積極的に取り組みたいものです。さあ、何をしましょう？

思いや心を伝えるには、積極的に 言葉や行動であらわすこと 時には、勇気が必要です！